

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	工業技術基礎	2	1	セラミック	必修	工業技術基礎 (実教出版)

## 1. 学習の到達目標

陶磁器の製造技術に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

## 2. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	各作業の基本的な事項を理解し、正確な作業ができる。 成形技法・技術に関する基礎的な知識や取り扱い方法を身につけている。 機械や道具の機能や使用方法を正しく理解している。 各作業において効率よく加工することができる。	正確な作品ができるよう配慮し、効率よく作業を行うために、手順を工夫している。	各作業の基本的な事項を理解し、正確な作業方法を身につけようとしている。 正確な作品を成形する技術を身につけようとしている。 作業に適した服装をし、正しく着用している。
評価の方法	学習態度（実習服の上下着用）、アイデアスケッチ・ワークシート・作品などの提出物の状況を総合的に判断して評価します。		

## 3. 教科からのメッセージ

1年間で成形の基礎（ひもづくり、板づくり）、釉薬・焼成の基礎、機械ろくろ成形の基礎、七宝焼の基礎と多くのことを学びます。

この授業ではこれらの陶磁器関係全般の基礎的な知識、技術を身につけることが目標です。

授業では、実習服を上下正しく着用し、安全にかつ効率的に作業できるよう行動しましょう。また、作品を完成させるために、自分で計画的に制作し、何事にも興味・関心を持ち、授業に取り組みましょう。

年間指導計画 科目名 工業技術基礎 2 単位 1 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前期	4 5 6 7 9	成形の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもづくり成形の基礎</li> <li>①ひもづくり成形に適した粘土の状態を理解する。</li> <li>②ひも状の粘土の作り方を習得する。</li> <li>③ひもの積み上げ方を習得する。</li> <li>・板づくり成形の基礎</li> <li>①板づくりに適した粘土の状態を理解する。</li> <li>②板同士の接着の技法を習得する。</li> </ul>
		施釉・焼成の基礎	基本的事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>①釉薬の種類、焼成方法を理解する。</li> <li>②二重掛けなどの施釉方法を学び、釉薬の発色の違いを理解する。</li> <li>③基礎的な計測技術を理解する。</li> </ul>
後期	10 11 12 1 2	機械ろくろ成形の 基礎	基本的事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種成形方法で使用する機器の操作方法や道具について理解する。</li> <li>・各種成形方法ごとの仕上げ方法を理解する。</li> </ul>
		七宝焼の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七宝焼の基礎</li> <li>①七宝に用いる釉薬、道具について理解する。</li> <li>②七宝で使われる用語について理解する。</li> <li>・七宝制作</li> <li>①制作工程を学び、必要な道具について理解する。</li> <li>②釉薬の盛り付け方を習得する。</li> <li>③七宝の焼成を習得する。</li> </ul>
		転写技法の基礎	基本的事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上絵付、上絵の具について理解する。</li> </ul> 転写技法の基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>・転写シートによる転写の基本的事項を理解する。</li> </ul>